

発行：2011年5月22日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦  
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

2011年(平成23年)5月5日 木曜日 山 口 新 聞

## 写真家・絵本作家 下松の金井道子さん



# タイの子どもに絵本を

## 幼稚園訪れ40冊贈る

写真家、絵本作家として活躍する下松市の金井道子さん(68)が、周南市のNPO法人シャンティ山口(角直彦代表理事)が生活支援を続けているタイ北部の農村を訪れ、子どもたちに絵本をプレゼントした。金井さんは「子どもたちの目が一生懸命に絵本に向けられていてうれしかった。これからも贈り続けたい」と話している。

幼稚園の先生に絵本を手渡す金井道子さん(左)と美称市美東町のフォトギャラリー写真蔵蔵主・本東地圭三さん提供

金井さんは写真家として国内外で個展を開催。絵本作家としても活躍し、手作り絵本の全国コンクールで入賞経験もある。2008年からは下松手作り絵本の会を結成して、同コンクールを引き継いでいる。

シャンティ山口は、タイ北部の農村で住宅へのトイレ設置や幼稚園開設といった支援を続けている。活動を知った金井さんは昨年、同法人を通じてタイに絵本を贈り、今年3月に初めて現地を訪問。自身が制作した絵本や同コンクールの受賞作など約40冊を幼稚園に寄贈した。先生が絵を見ながら現地の言葉でストーリーを語りかけると、子どもたちは真剣な表情で聞き入っていたという。

「子どもは幼児期が一番大切。小説は電子書籍にできても、絵本はこれからなくなりならないと思う」と金井さん。現地ではスナップ

写真など2千枚以上を撮影し、創作への意欲は尽きない。「どんなことができるか分からないけど、世のため人のために残りの人生を役立てたい」と話した。

# 本当の支援とは、「絆づくり」に尽きます



山口市出身、在住、タイ山岳民族の自立を支援するシャ  
ンティ山口にて活動。県の企業局で培った技術を活か  
して、「バイオトイレ」等を開発するなど、現地の環境整  
備に大きく貢献。年の半分は山岳民族の村で過ごす。

〒753-0215 山口市大内矢田717  
TEL・FAX 083-927-4083  
URL <http://www.shanti-yamaguchi.com/>

## Profile

NPO法人シャンティ  
山口事務局長

佐伯 昭夫さん

「何もしてもらわなくていい。あなたたちに、来てもらえるだけでいいんです。」ベトナム戦争や内戦に伴い難民となった少数民族の方の言葉に衝撃を受け、以来「シャンティ山口」で活動を続ける佐伯昭夫さん。現地に入り、コミュニケーションを取りながら、自立支援に貢献して20年。日本の「支援」のあり方を見つめ直したいと、佐伯さんは語る。

「シャンティ山口とは？」

佐伯 前身を「曹洞宗国際ボランティア会山口県支部」と言っており、1980年からカンボジアやラオスの難民を救済する活動を行っていました。「シャンティ」とは、インドの仏教語で「平和・寂靜」の意を表しています。

「佐伯さんが参加されるようになったきっかけは？」

佐伯 ある福祉関係の会場で、難民キャンプやタイ北部の少数民族についての話を聞く機会があり、その惨状に衝撃を受けたのです。お金や物資だけでなく、「心の支えが必要とされてい

る」ということを感じ、それなら私にもできることがあるのではと参加を決意しました。

「それまでもボランティアをされていたのですか？」

佐伯 県の職員として務めながら、様々な福祉ボランティアには参加していました。障害者自立支援活動の「環や、市民手話講習会などで

もう60年も前のことですが、私の父は身体の不自由な親戚の方や子供たちを家に入れ、面倒を見ていたんです。父は、困っている人を見たら、困らなかつたんですよ。最近よくそれを思

い出すんです。同じことをしているなあって（笑）。

## 花技術者の知恵を活かして、バイオトイレを導入

「具体的な活動内容を教えてください。」

佐伯 難民キャンプの解散により、帰還できない多くの少数民族問題が発生しました。タイ北部のモン族もそんな民族のひとつで、私たちは彼らの自立支援をお手伝いすることに。モン族の伝統文化を尊重しながら、村の人々と協働で活動の輪を広げていきました。特に力を入れたのは、飲料水やトイレ等の衛生環境を整備

することです。  
「ご苦労も、おありだつたでしょう。」

佐伯 素堀の穴に茅をかぶせた簡素なトイレでは、雨で汚物が流れ出し、感染症の原因となっていました。衛生問題に直面しヒントを得たのは、日本の「肥溜め」。微生物を活用して大腸菌などを死滅させ、なおかつ植物栽培に有効な栄養価の高い水を作り出す「農村の知恵」を活用できないかと考えまして…。何といてもくみ取りにかかる費用すらない貧困地域ですから、材料も現地調達できることが必須です。試行錯誤の末、完成したバイオトイレは、本当に村の人々に喜んで使われました。

「バイオトイレが更に進化して、」

佐伯 ええ。浄化する際に発生するガスを利用して家庭用燃料へ転換する装置も作ったんです。自然エネルギーを最大限に利用した「自然循環浄化システム」ができました。これなら、現地の方々に負担もな

く、生活にも役立つと思  
いました。

## 本当の支援とは

「これからの活動予定は？」

佐伯 教育施設なども建設しましたが、私たちが作るだけでは本当の自立とは言えません。彼らの手によって作ることが大切なので、近はその指導にも力を入れています。お金や物資による支援だけでなく、現地との交流によって生まれる顔の見える「支援」を心がけたいと思っています。

「読者に一言お願いします。」

佐伯 この度の東日本大震災をうけ、タイの貧困地域でも募金活動が行われています。家も財産もない人々が微々たる日々の糧を削ぎ、募金をしてくれている。その気持ちをしっかりと理解して、100倍にも200倍にもしていかねばならないと思います。支援とは、心を結びつけ絆を作っていく…。ということに尽きますから。

**Wing 募集**

あなたの街の身近な  
情報やニュース…

本紙表面で取り上げている素敵な人、グルメなお店やこれからオープンするショップ等。自薦、他薦は問いません！どしどし情報をお寄せ下さい。

〒753-0068 山口市錦町10-3  
tel 083-932-4089 fax 083-932-4095  
E-mail: [wingnet@c-able.ne.jp](mailto:wingnet@c-able.ne.jp)